

型取引の適正化に向けた取組み状況

一般社団法人 日本自動車工業会
2020年12月10日

1. 型取引適正化取り組み進捗状況

自工会「自主行動計画」フォローアップ調査結果より型取引に関する部分を抜粋




- 型の保管費用負担、廃棄/返却の推進は従前より14社 **全社で対応**している。
- 取引条件書面化は8社、知財・ノウハウ保護は9社が対応。その他の社も下期以降も **前向きに推進中**。



全社対応



対応社増

「重点5課題」関係 自主行動計画実施項目	2018年	2019年	2020年	備考
①取引内容の書面化	—	—	8	他6社も現在前向きに取組み中
②受注側からの要求による 型製造代金の一括払い	—	6	 9	他1社が「一部出来た」、 4社は「該当なし（要請なし）」
③型の保管費用の負担	14	14	 14	
④型の返却や廃棄の促進	14	14	 14	
⑤知的財産・ノウハウの保護	—	—	9	他1社が「一部出来た」、 4社は「該当なし（図面等提供なし）」

2. 具体的取組み事例① <A社：型廃却勉強会>

「品番と型の紐付け」で苦労している仕入先様が多く、支援の必要があり、下記活動を企画・実施。

■ 型廃却 勉強会を立ち上げ ('20/5~)

- ・仕入先様 型廃却自主活動を、A社が場を作り、アドバイザー仕入先様とともにサポートする形式

・型廃却ノウハウの習得

(型廃却の為の必要条件、A社→仕入先様への情報の流れ・使い方)

・各社での定着に向けた仕組み作り

[1回/週 × 10週間 の短期集中活動]

<オンラインMTG (1回/週)>

- ・型廃却に向けたStep説明
- ・好事例紹介
- ・困り事相談



<~翌週MTG>

- ・各仕入先様にて
選定した品番で実践

2. 具体的取組み事例① <A社：型廃却勉強会>

【第1回 参加仕入先様の状況】

<a社>

- 型⇔品番紐付け
型置き場管理
- 1型 = 1品番
- 古い品番：生死不明多数

管理OK

<b社>

- 型⇔品番紐付け
型置き場管理
- 構成品多数

未整備

<c社>

- 型⇔品番紐付け
型置き場管理
- 外注委託部品多い

未整備

[型置き場]



仕入先様の状況に応じた
サポート活動推進

2. 具体的取組み事例① < A社：型廃却勉強会 >

【参加仕入先様 活動結果】

- 各社、型廃却を実現 → 今後も定着化に向けた活動をサポート

	参加 仕入先様	旧型補給 自社保有型	活動での成果 <第2回は中間状況>		
			型廃却数	スペース	コスト
第1回 (20/5-7)	a社	1,200	193	-69.0m ²	-1,080 千円/年
	b社	1,400	6	-2.4m ²	-6 千円/年
	c社	1,700	25	-20.5m ²	確認中
第2回 (20/10-12) <活動中のため 中間状況>	d社	1,905	31	-42.0m ²	-38 千円/年
	e社	約2万型	81	-20.0m ²	-1,000 千円/年

2. 具体的取組み事例② < B社：金型／治具削減活動 >

■ 毎年「サービス部品点数上位 50社」へ**共同活動を打診**。(FY20：11社と活動実施中)

<具体的な活動内容>

- サプライヤー様の「困りごとヒアリング」 / 「対策の立案／実施」
 - ・ 生産量／使用頻度の少ない部品、金型/治具が保管されている
 - ・ (「廃却連絡」のあった) 部品番号と金型の紐付ができずに型廃却出来ない

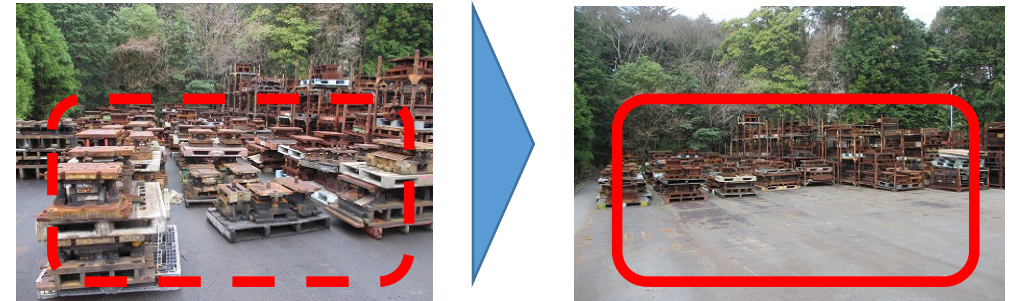
サプライヤー：□社様

- (改善前) 1回/数カ月のオーダーで、外部倉庫から治具を搬入し生産。
- (改善後) 生涯需要数に基づき造り溜めを実施し、治具を廃却。



サプライヤー：△社様

- (改善前) 旧サービス部品金型：部品番号と金型の紐付ができずに廃却出来ない。
- (改善後) OEM、サプライヤー共同で約1,000型の紐付を行い、約340型の廃却を実施。



<今後の課題>

- Tier-1のみならず、Tier-Nの金型削減につながる活動の展開

2. 具体的取組み事例③ < C社：型管理支援 >

- ・部品お取引先全社に対し、以下の型管理支援を実施中
- ・支援は取引契約上、対象が限られ、TierN支援に関してはサプライチェーン全体での取組が必要

■ 品番をベースとした金型廃却プロセス

「補修部品制度実施要領」(2018年5月改訂)ならびに「金型廃却ルール」(2020年3月改訂)を作成し、お取引先に配布の上、廃却をサポート

- 上記に基づき、生産年限を経過した金型については対象品番データを年2回配信し、廃却をサポート

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
対象品番 データ配信						対象品番 データ配信					
お取引先の申請に基づき、判定・承認後、お取引先にて随時廃却											

- 「金型廃却ルール」についてはお取引先実務者に対し、年2回の品番データ配信時に共有し、周知徹底

3. 今後の取り組み

- 自工会自主行動計画および各社にて定めた「パートナーシップ構築宣言」等を踏まえ、引き続きサプライヤ様の声に耳を傾けて真摯な対応を行い、取引適正化の徹底を図る。また、取り組み好事例のサプライチェーン全体への展開にも引き続き務める。
- 自動車製造関連4団体（部工会／車工会／自機工／自工会）連携によるサプライチェーン競争力強化のための活動を引き続き推進する。
コロナ禍で苦境にあるサプライヤ様への資金支援「助け合いプログラム」を継続するとともに、アフターコロナを見据え、資金支援以外でのサプライヤ様の困り事（現場改善、人材育成など）解消に向けた取り組みを検討し、順次実行していく。